



前田建設

MAEDA SUSTAINABILITY REPORT

サステナビリティレポート2019

データブック



MAEDA SUSTAINABILITY REPORT

サステナビリティレポート2019

データブック

目次

- 2 MAEDAのコミュニケーションツール
- 3 MAEDAの2018年度におけるマテリアリティを支える基盤となる取り組みと
主なKPI、ISO26000の関連性
- 5 MAEDAのマテリアリティを支える基盤となる取り組みの活動データ報告
- 5 ●「安全・品質・調達の取り組み」
重点項目: 労働安全衛生、品質、お客さま、調達
- 7 ●「環境保全への取り組み」
重点項目: 環境経営推進、気候変動への対応、循環型社会構築、
生物多様性保全、環境コミュニケーション
- 15 「地球への配当」プロジェクトと拠出金額
- 16 グループ会社の環境データ一覧
- 17 ●「人材育成とダイバーシティ」
重点項目: 人材育成とダイバーシティ
- 19 ●「法令等遵守(コンプライアンス)・内部統制」
重点項目: 企業統治、リスク管理、法令等遵守
- 1 ● 20 ●「企業市民としての社会・地域貢献活動」
重点項目: 社会・地域とのコミュニケーション
- 20 MAEDA SIIの投資先について

MAEDAのコミュニケーションツール

MAEDAのコミュニケーションツールの構成

MAEDA SUSTAINABILITY REPORT 2019



MAEDAおよびグループ会社に取り組んでいるCSR活動を中心に紹介しています。2部構成になっており、パート1では事業活動などを通して当社の考えや戦略を述べ、パート2では当社の「CSRの4本柱」を軸に2018年度の取り組み実績を報告しています。

MAEDA SUSTAINABILITY REPORT 2019 データブック



MAEDA SUSTAINABILITY REPORT 2019で報告したCSR活動の補足およびKPIについて、経年変化と目標値を示し、その状況をお伝えしています。

MAEDA ANNUAL REPORT



主に海外投資家を対象とし、財務情報、国内外工事情報、CSR活動などの実績とともに、当社の今後の事業戦略についても報告しています。

MAEDA Webサイト

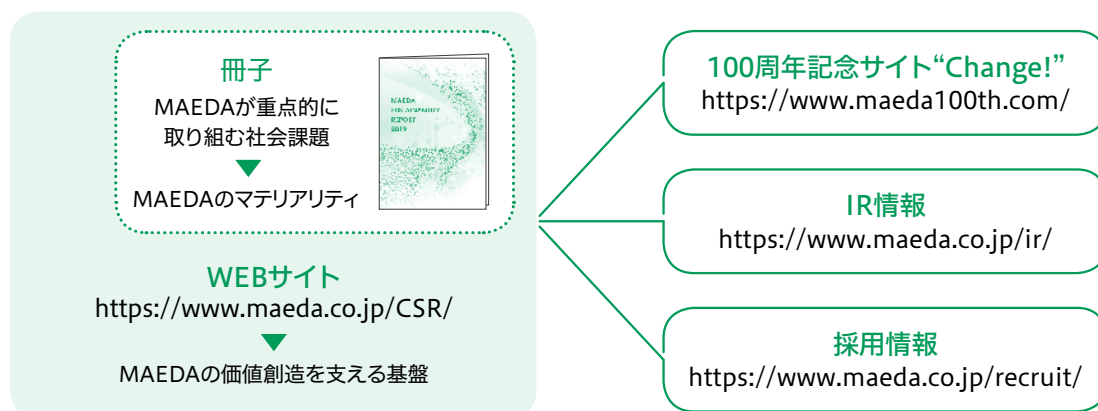


MAEDAの財務情報については「IR情報」サイトにおいて情報公開し、非財務情報については「CSR」サイトにおいて報告しています。

IR情報 : <https://www.maeda.co.jp/ir/index.html>

CSR : <https://www.maeda.co.jp/csr/index.html>

MAEDA コミュニケーションツールの主な位置づけと関係性



MAEDAの2018年度におけるマテリアリティの基盤となる 取り組みと主なKPI

マテリアリティを支える基盤	重点項目	報告項目における主な取り組み
安全・品質・調達の取り組み	労働安全 品質 お客様 調達	現場における安全への取り組み
		グリーン調達の推進
環境保全への取り組み	環境経営推進 気候変動への対応 循環型社会構築 生物多様性保全 環境コミュニケーション	気候変動に対する取り組み
		循環型社会の構築に向けた取り組み
		生物多様性の取り組み
		環境コミュニケーション
人材育成とダイバーシティ	人材育成とダイバーシティ	労務・人権・人事
法令等順守(コンプライアンス)・ 内部統制	企業統治 リスク管理 法令等遵守	理念等の浸透・定着
		BCPへの取り組み
企業市民としての社会・地域貢献活動	社会・地域とのコミュニケーション	CSR・コンプライアンス 地域とのコミュニケーション

当社のマテリアリティの基盤となる、サステナビリティレポート2019の報告項目、各項目で取り組んだ内容とそのKPIおよびISO26000との関係性をそれぞれの関係性を以下の一覧表に示します。

取り組みに関するKPI	KPIの達成度指標	データブック 対応ページ	ISO26000 7つの中核課題							
			組織統治	人事	労働慣行	環境	公正な事業慣行	消費者課題	および開発 コミュニティ参画	
安全成績	度数率、強度率									
施工段階におけるグリーン調達品(指定11品目)の調達	調達率	P. 5					●	●	●	
オフィスにおける文具類グリーン調達品の調達	調達率									
施工段階のグリーン調達量(30品目)	調達量	P. 6								
建築物運用段階におけるCO ₂ 排出削減	推定削減率	P. 7								
施工段階におけるCO ₂ 排出	排出量、排出原単位									
オフィスにおける電力使用量によるCO ₂ 排出	排出量、排出原単位	P. 8								
環境技術の工事受注・売上への貢献	採用件数	P. 9								
事業活動の上下流の間接的CO ₂ 排出(スコープ3)	排出量									
施工段階における廃棄物の排出量	排出量									
施工段階のリサイクル率(汚泥等除く)	リサイクル率	P. 10								
施工段階における混合廃棄物排出量	延床面積あたりの原単位									
電子マニフェストの利用	利用率						●		●	
オフィスにおける一般廃棄物排出量	排出量、排出原単位	P. 11								
オフィスにおける水使用量	使用原単位									
生物多様性をテーマにした技術開発	開発件数	P. 12								
環境意識の向上を目的とした集合教育の実施	実施回数									
eco検定の取得	取得者率	P. 13								
社内エコポイント制度「Me-pon」の普及	参加者率、利用ポイント数									
環境保全コスト(環境会計)	拠出額	P. 14								
環境保全を目的とした資金拠出	「地球への配当」拠出額	P. 15								
障がい者雇用	雇用率									
定年者再雇用	再雇用者率									
女性社員	社員数・勤続年数									
管理職者	男女別職員数・比率									
育児休業	取得者数	P. 17								
介護休業	取得者数									
有給休暇取得率	取得率		●	●	●			●		
ボランティア休暇取得	取得者数									
人権問題に関する教育・研修	参加率									
雇用契約別従業員	従業員数									
離職者	離職者数									
新入社員	社員数	P. 18								
スマートワーク	取得人数・延べ日数									
36協定	締結事業所数									
経営規範に関する教育の受講	新入社員受講者率									
BCP訓練における安否確認メールへの返信	返信率	P. 19	●	●	●			●		
CSR戦略会議の実施	実施回数									
社会・地域貢献活動の取り組み	取り組み件数	P. 20								●

「安全・品質・調達の取り組み」

重点項目 労働安全衛生、品質、お客さま、調達

◎:100%達成 ○:95%以上達成 △:90%以上達成 ×:未達成

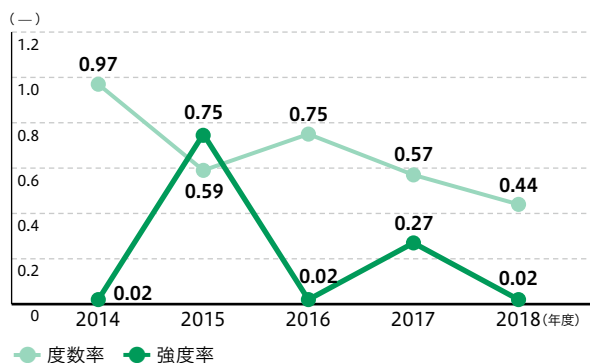
安全に関する取り組み

●現場における安全への取り組み:【KPI】安全成績

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
度数率	0.75	0.57	0.44	—	—	—
強度率	0.02	0.27	0.02	—	—	—

度数率: (死傷者数) ÷ (延べ労働時間数) × 1,000,000 強度率: (労働損失日数) ÷ (延べ労働時間数) × 1,000

度数率と強度率の経年変化



グリーン調達の推進

●グリーン調達の推進:【KPI】施工段階におけるグリーン調達品(指定11品目)の調達、オフィスにおける文具類グリーン調達品の調達

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
施工段階のグリーン調達率	56%	45%	47%	55%以上	×	45%以上
オフィスのグリーン調達率	70%	72%	65%	85%以上	×	—

※「指定11品目(コンクリート3種、再生鋼材3種、Low-Eガラス、複層ガラス、ノンフロン断熱材、LED照明、EM電線)」

●グリーン調達の推進:【KPI】施工段階のグリーン調達量(30品目)

KPIの指標		2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
材料 13 品目	高炉コンクリート	167,301m ³	159,987m ³	71,226m ³	—	—	—
	フライアッシュコンクリート	78,551m ³	8,120m ³	20,254m ³	—	—	—
	再生コンクリート	0m ³	0m ³	51m ³	—	—	—
	電炉H鋼、鋼矢板、鉄筋	85,919t	95,531t	74,831t	—	—	—
	建設発生土再利用	164,737m ³	62,359m ³	173,764m ³	—	—	—
	建設汚泥から再生した処理土	16,304m ³	28,487m ³	0m ³	—	—	—
	再生骨材等	105,040t	56,901t	90,579t	—	—	—
	再生加熱アス混合物	6,926t	11,119t	14,767t	—	—	—
	代替型枠	19,590m ²	3,867m ²	13,514m ²	—	—	—
	PC材	32,274m ³	23,627m ³	5,336m ³	—	—	—
	国産木材構造材	—	—	44m ³	—	—	—
	国産木材仮設用途	—	—	0m ³	—	—	—
	EPD認証製品	—	—	1,000百万円	—	—	—
内・外 装材 7 品目	Low-Eガラス	36,915m ²	26,071m ²	9,086m ²	—	—	—
	複層ガラス	27,609m ²	9,535m ²	3,583m ²	—	—	—
	屋上緑化	5,840m ²	1,140m ²	736m ²	—	—	—
	壁面緑化	1,544m ²	109m ²	69m ²	—	—	—
	再生木質ボード	372,581m ²	42,710m ²	25,530m ²	—	—	—
	間伐材(国産材)	1,648m ³	184m ³	2m ²	—	—	—
	ノンフロン断熱材	546,156m ²	475,199m ²	405,041m ²	—	—	—
設備系 10 品目	自動制御ブラインド	98カ所	0カ所	0カ所	—	—	—
	地中熱利用システム	10kW	0kW	0kW	—	—	—
	太陽光発電	8,823kW	46kW	22,251kW	—	—	—
	太陽熱利用	6m ²	0m ²	0m ²	—	—	—
	風力発電	4,000kW	22,400kW	0kW	—	—	—
	燃料電池	1kW	0kW	0kW	—	—	—
	LED照明	42,775台	53,975台	35,500台	—	—	—
	EM電線	514,959m	293,686m	448,185m	—	—	—
	節水便器	1,599組	1,066組	1,017組	—	—	—
	高効率空調設備	—	—	10基	—	—	—

※グリーン調達品目の統合、廃止、追加等の見直しを行いました。

「環境保全への取り組み」

重点項目	環境経営推進、気候変動への対応、循環型社会構築、生物多様性保全、環境コミュニケーション
------	---------------------------------------------

◎:100%達成 ○:95%以上達成 △:90%以上達成 ×:未達成

【MAEDA環境方針】

【基本理念】

MAEDAは、地球も大切なステークホルダーと位置づけ、ものづくりを通して人々の豊かで安心な生活の実現に寄与することにより、社会とともに持続可能な発展をめざす

【基本方針】

1. 地球・社会の一員として自覚し、着実かつ先進的な環境経営を推進する
2. 事業活動のすべての段階で、環境との調和と負荷低減に取り組む
3. 環境技術やサービスの創出に努め、新しい価値を創造する
4. 社会との環境コミュニケーションを積極的に展開する
5. 美しく豊かな地球環境を継承するための、人財の育成やしきみづくりを行う

気候変動への対応

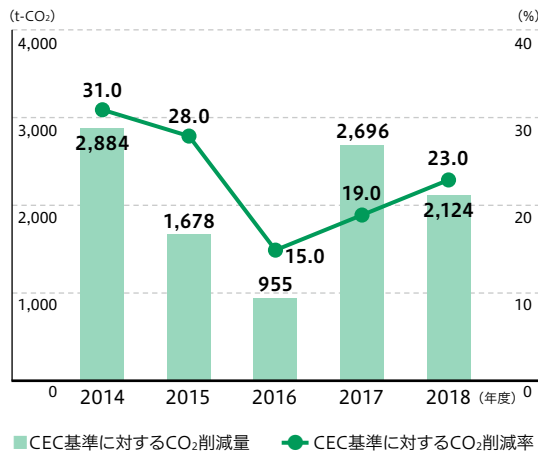
●気候変動に対する取り組み【KPI】設計段階:建築物運用段階におけるCO₂排出削減

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
CO ₂ 推定削減率	15%	19%	23%	—	—	—
CO ₂ 推定削減量	955t-CO ₂	2,696t-CO ₂	2,124t-CO ₂	—	—	—

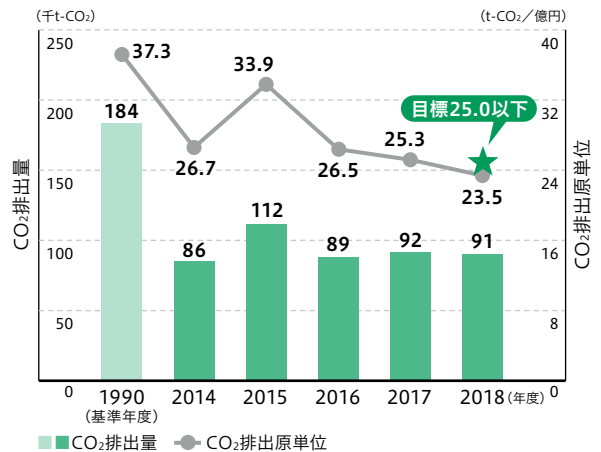
●気候変動に対する取り組み:【KPI】施工段階:施工におけるCO₂排出

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
CO ₂ 排出原単位(全社)	26.5 t-CO ₂ /億円	25.3 t-CO ₂ /億円	23.5 t-CO ₂ /億円	25.0 t-CO ₂ /億円以下		24.5 t-CO ₂ /億円以下
CO ₂ 排出原単位(土木)	48.9 t-CO ₂ /億円	43.3 t-CO ₂ /億円	43.5 t-CO ₂ /億円	49.8 t-CO ₂ /億円以下		48.3 t-CO ₂ /億円以下
CO ₂ 排出原単位(建築)	11.5 t-CO ₂ /億円	15.6 t-CO ₂ /億円	10.8 t-CO ₂ /億円	12.3 t-CO ₂ /億円以下		12.3 t-CO ₂ /億円以下
CO ₂ 排出量	89 千t-CO ₂	92 千t-CO ₂	91 千t-CO ₂	—	—	—

建築物運用段階におけるCO₂発生抑制に関する推移



CO₂(施工活動)の推移



2018年度の作業所における省燃費運転活動実施状況

対象台数	アイドリングストップ	定期検査証保有	省燃費運転講習(座学)	省燃費運転講習(実地)
土木(169,026台)	82.8%(1,052t-CO ₂)	81.8%(1,156t-CO ₂)	51.1%(481t-CO ₂)	36.9%(870t-CO ₂)
建築(212,090台)	86.2%(480t-CO ₂)	81.6%(506t-CO ₂)	52.7%(217t-CO ₂)	50.8%(524t-CO ₂)
全社(381,116台)	84.3%(1,533t-CO ₂)	81.7%(1,661t-CO ₂)	51.8%(698t-CO ₂)	43.1%(1,394t-CO ₂)

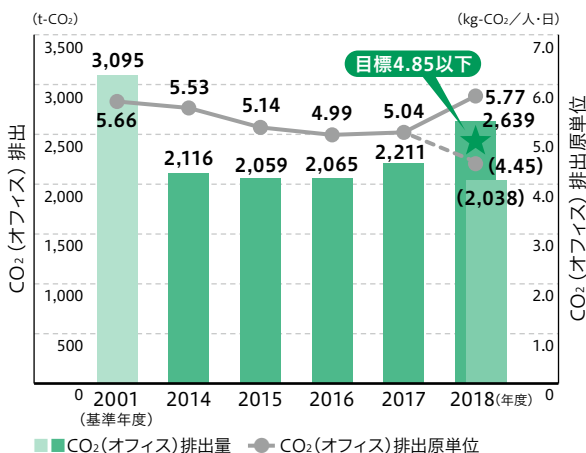
※()内はCO₂推定削減量

●気候変動に対する取り組み:【KPI】オフィス活動:オフィスにおける電力使用によるCO₂排出

KPIの指標	2016年度実績値	2017年度実績値	2018年度実績値	2018年度目標値	2018年度達成度	2019年度目標値
CO ₂ 排出原単位	4.99 kg-CO ₂ /人・日	5.04 kg-CO ₂ /人・日	5.57(4.45) kg-CO ₂ /人・日	4.85 kg-CO ₂ /人・日以下	◎	4.40 kg-CO ₂ /人・日以下
CO ₂ 排出量	2,065 t-CO ₂	2,211 t-CO ₂	2,639(2,038) t-CO ₂	1,940 t-CO ₂ 以下	○	2,018 t-CO ₂ 以下

※オフィスCO₂の集計は2018年度よりこれまでの電力使用分のみに加え車輦等の燃料分を加えています。

CO₂(オフィス活動)の推移



※点線表示、()の数値は電力使用分のみを示しています。

●環境技術の売上への寄与・普及・展開:【KPI】環境技術の工事受注・売上への貢献

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
採用件数(土木)	4件	5件	6件	3件	◎	3件
採用件数(建築)	16件	7件	1件	2件	×	—

●気候変動に対する取り組み:【KPI】事業活動の上下流において排出される間接的な排出量(スコープ3)

カテゴリー	2018年度における算定範囲	2016年度 実績値 (t-CO ₂)	2017年度 実績値 (t-CO ₂)	2018年度 実績値 (t-CO ₂)
1. 購入した製品・サービス	当社が購入した製品のうち、購入金額を把握できている製品の排出量	685,979	820,575	846,082
2. 資本財	購入または取得した資本財(有形固定資産、土地を除く)の建設・製造および輸送から発生する排出	15,171	64,303	86,776
3. スコープ1、2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	当社が購入した燃料の上流側の排出量	4,636	3,187	5,678
4. 輸送、配送(上流)	当社が購入した建造物の躯体関係(生コン、鉄筋など)の物流に関する排出量	5,195	6,520	4,010
5. 事業から出る廃棄物	自社の事業活動から発生する廃棄物(有償の物を除く)の自社以外での「廃棄」と「処理」に係る排出量および廃棄物の輸送に係る排出量	16,555	17,359	18,940
6. 出張	業務における従業員の移動(出張など)に使用する交通機関の燃料・電力消費から排出される排出量	383	390	398
7. 雇用者の通勤	事業所への通勤時に使用する交通機関の燃料・電力消費から排出される排出量	1,409	1,342	1,370
11. 販売した製品の使用	自社施工した建造物の使用に伴う排出量のうち、「事務所ビル」「卸・小売業」「飲食店」「学校」「ホテル・旅館」「病院」「集合住宅など」の建築物に係る排出量 ※建物の供用期間(60年と設定)における排出量としたことから、(年間排出量)×(供用期間)で算定	4,924,891	5,050,833	6,095,083
12. 販売した製品の廃棄	自社施工した建造物の「廃棄」と「処理」に係る排出量 ※具体的には、自社購入した製品のうち、「コンクリート」「鉄筋」「鉄骨」「PC」から、それぞれの廃棄物量を差し引いた物量を計算し、これを「販売した製品」と仮定して将来「廃棄」「処理」される量と想定	44,612	20,044	13,926
13. リース資産(下流)	当社が賃貸事業者として所有し、他者に賃貸しているリース資産のうち、建物の運用に伴う排出量	5,218	5,257	5,336
合計		5,704,049	5,989,809	7,077,598

※カテゴリー8「リース資産(上流)」、9「輸送、配送(下流)」、10「販売した製品の加工」、14「フランチャイズ」、15「投資」は対象外としました。

循環型社会構築に関する取り組み

●循環型社会構築に向けた取り組み:【KPI】施工段階:施工における廃棄物の排出

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
廃棄物排出量(全体)	560千t	593千t	520千t	—	—	—
廃棄物排出量(新築のみ)	319千t	409千t	252千t	—	—	—
廃棄物排出量(解体のみ)	242千t	184千t	268千t	—	—	—
廃棄物最終処分量	26千t	20千t	15千t	—	—	—

●循環型社会構築に向けた取り組み:【KPI】施工段階:施工におけるリサイクル(汚泥等除く※)

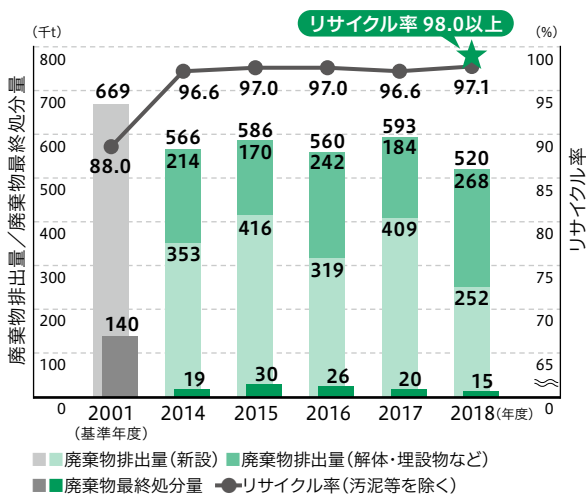
KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
リサイクル率(汚泥等除く)(全社)	97.0%	96.6%	97.1%	98%以上	○	98%以上
リサイクル率(汚泥等除く)(土木)	97.0%	97.2%	98.3%	98%以上	◎	98%以上
リサイクル率(汚泥等除く)(建築)	97.0%	96.7%	96.2%	98%以上	○	98%以上

※対象年度に排出した廃棄物のうち、「汚泥」、「特別管理型廃棄物」を対象外としています。

【リサイクル率(%)】:(排出量-最終処分量)/排出量×100

※2018年度より汚泥を含み集計しています。

廃棄物(施工活動)推移およびリサイクル率



●循環型社会構築に向けた取り組み:【KPI】施工段階:施工における混合廃棄物排出(建築の新築工事に限る)

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
住宅系混廃原単位(延床面積あたり)	11.2kg/m ²	9.3kg/m ²	8.0kg/m ²	6.6kg/m ² 以下	×	7.8kg/m ² 以下
非住宅系混廃原単位(延床面積あたり)	6.8kg/m ²	5.5kg/m ²	9.0kg/m ²	5.5kg/m ² 以下	×	8.7kg/m ² 以下

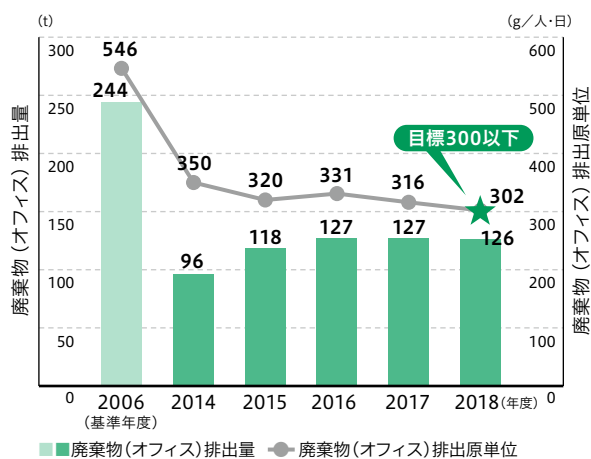
●循環型社会構築に向けた取り組み:【KPI】施工段階:電子 manifests の利用

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
電子 manifests 利用率	85%	89%	90%	95%以上	○	95%以上

●循環型社会構築に向けた取り組み:【KPI】オフィス活動:オフィスにおける一般廃棄物排出

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
廃棄物排出原単位(1日1人あたり)	331g/人・日	316g/人・日	302g/人・日	300g/人・日 以下	○	—
廃棄物排出量	127t	127t	126t	100t以下	×	—

廃棄物(オフィス活動)推移



●循環型社会構築に向けた取り組み:【KPI】オフィス活動:オフィスにおける水使用量

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
水使用原単位(1日1人あたり)	56L/人・日	52L/人・日	44L/人・日	40L/人・日 以下	△	—

生物多様性保全に関する取り組み

【MAEDA生物多様性行動指針】

【基本理念】

MAEDAは、地球も大切なステークホルダーと位置づけ、企業市民として、事業を通して、またひとりの個人として、人と自然が支えあう社会の創造に向けた環境活動に誠実かつ意欲的に取り組み、地球からの大切な恵みである生物多様性の保全と持続可能な利用を推進します。

【行動指針】

事業を通じた行動

■事業活動への展開

MAEDAは、調達・運用を含めた全ての事業領域における環境配慮の推進により、生物多様性の保全と生態系サービスの持続可能な利用に努めます。

■研究、技術開発

MAEDAは、生物多様性の保全・回復と持続可能な利用に寄与する情報の収集、技術開発に取り組み、これを積極的に顧客、社会へ提案します。

企業市民としての行動

■地球への配当

MAEDAは、豊かな自然の恵みを未来へと引き継ぐため、生物多様性の保全・回復に資する様々な社会活動に対し、「地球への配当」として積極的な支援を行います。

■コミュニケーション

MAEDAは、生物多様性に関する自主的な取り組みや成果について積極的に情報開示し、広く社会と共有することで、顧客、行政、地域社会、NGO/NPO等との連携、対話を図ります。

■教育・啓発

MAEDAは、環境教育・啓発活動を通じて、社員、協力会社の生物多様性に関する理解の促進と意識の向上に努めます。

個人としての行動

■活動の場の提供

MAEDAは、生物多様性への意識を個人としての行動に結びつけられるよう、社員ひとり一人が自発的に環境活動に参画できる場の提供に努めます。

■地球市民としての活動

MAEDAの社員は、地球市民の一人として、また家族、協力会社、地域社会などと連携し、生物多様性に関する自主的な貢献活動を推進します。

制定：2010年5月22日

●生物多様性の取り組み：【KPI】生物多様性をテーマにした技術開発

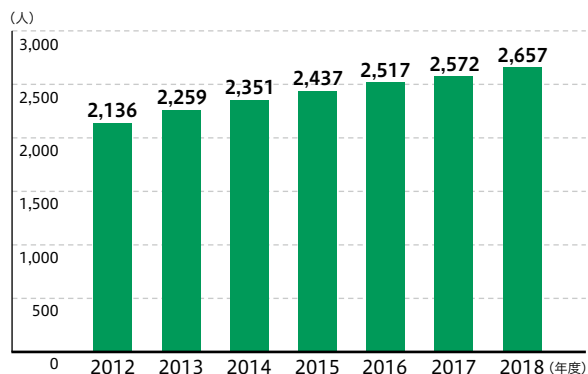
KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
開発テーマ研究の件数	1件	2件	0件	1件以上	×	—

環境コミュニケーション

●環境教育の充実:【KPI】環境意識の向上を目的とした集合教育の実施、eco検定の取得

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
集合教育の実施回数	9回	9回	9回	9回/年以上	◎	9回/年以上
eco検定取得者率	87%	87%	88%	95%以上	○	95%以上

eco検定合格者の推移(累計)



●エコアクションの拡大:【KPI】社内エコポイント制度「Me-pon」の普及

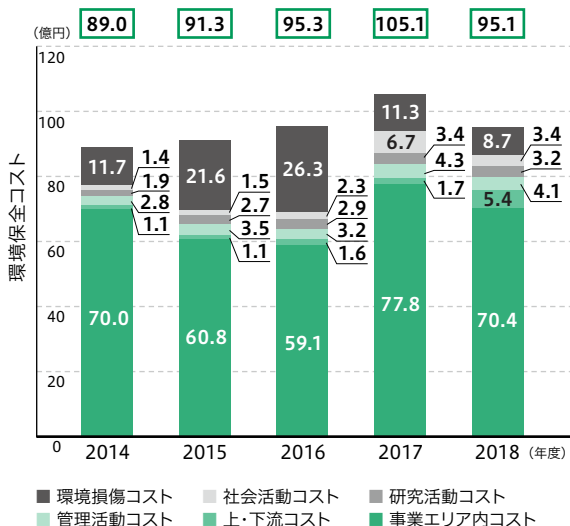
KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
参加者率	34%	43%	42%	—	—	—
参加者数	1,768人/年	1,301人/年	1,307人/年	1,200人/年以上	◎	1,450人/年以上
利用ポイント数	395,760 P/年	1,183,625 P/年	419,385 P/年	15,000,000 P/年以上	×	500,000 P/年以上
累計の取得ポイント数	4,154,486P	4,616,988P	5,312,334P	—	—	—
累計の交換ポイント数	2,441,565P	3,625,190P	4,044,575P	—	—	—
登録者数(社員)	1,768人	1,870人	1,728人	—	—	—

●環境保全コストの集計：【KPI】環境保全コスト(環境会計)

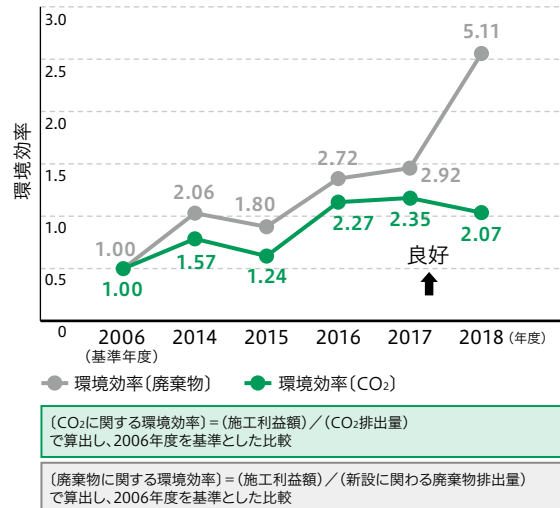
環境保全コスト区分		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		
大区分	中区分	費用 (億円)	構成比 (%)	費用 (億円)	構成比 (%)	費用 (億円)	構成比 (%)	費用 (億円)	構成比 (%)	費用 (億円)	構成比 (%)	
事業 エリア 内 コスト	公害防止 コスト	大気汚染防止	3.6	4.0	6.6	7.0	3.6	3.7	9.6	9.1	3.9	4.1
		水質汚濁防止	6.8	7.7	6.4	6.7	6.1	6.4	7.4	7.0	4.9	5.1
		土壌、地下水汚染防止	1.5	1.7	0.1	0.1	0.5	0.6	1.6	1.5	0.4	0.4
		騒音、振動防止	7.0	7.9	5.5	5.8	2.9	3.0	4.6	4.3	6.7	7.1
		地盤沈下防止	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	2.9	1.4	1.5
		その他公害防止	0.1	0.2	0.3	0.4	3.2	3.4	0.4	0.4	0.8	0.8
		小計	19.0	21.4	18.9	20.7	16.3	17.1	26.5	25.2	18.1	19.0
	地球環境 保全コスト	温暖化防止・省エネルギー	0.4	0.4	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		オゾン層破壊防止、その他	4.1	4.6	0.1	0.1	0.6	0.6	0.2	0.2	4.9	5.2
		小計	4.5	5.1	0.3	0.3	1.0	1.1	0.6	0.6	5.3	5.6
	資源循環 コスト	建設副産物減量化、リサイクル	8.6	9.7	2.6	2.7	1.4	1.5	2.7	2.5	3.1	3.3
		節水、雨水利用等コスト	0.4	0.4	0.1	0.1	0.4	0.4	0.3	0.2	0.0	0.0
		廃棄物処理費	37.5	42.1	38.9	40.8	40.0	42.0	47.8	45.5	43.9	46.1
	小計	46.5	52.2	41.6	45.5	41.8	43.9	50.7	48.2	47.0	49.4	
	事業エリア内コスト計		70.0	78.7	60.8	66.5	59.1	62.1	77.8	74.0	70.4	73.9
上・下流コスト	グリーン購入のためのコスト	0.2	0.3	0.1	0.1	0.4	0.4	0.7	0.7	4.8	5.1	
	環境配慮設計コスト	0.9	1.0	1.0	1.0	1.2	1.3	1.0	0.9	0.6	0.6	
	小計	1.1	1.2	1.1	1.2	1.6	1.7	1.7	1.6	5.4	5.7	
管理活動コスト	環境教育費用	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.6	0.8	0.7	0.9	1.0	
	EMS運用コスト	0.9	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	
	環境負荷の監視・測定	0.7	0.8	1.5	1.6	0.9	0.9	1.7	1.7	1.4	1.5	
	環境関連部門コスト	0.7	0.8	0.6	0.6	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	
	小計	2.8	3.2	3.5	3.8	3.2	3.3	4.3	4.1	4.1	4.3	
研究活動コスト	小計	1.9	2.2	2.7	3.0	2.9	3.1	3.4	3.2	3.2	3.3	
社会活動コスト	現場周辺美化対策コスト	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	
	地域支援・環境関連基金・寄付等	1.0	1.1	1.2	1.3	1.1	1.2	6.2	5.9	3.0	3.1	
	情報公開・環境広告コスト	0.4	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.4	0.4	
	小計	1.4	1.6	1.5	1.6	2.3	2.4	6.7	6.4	3.4	3.6	
環境損傷コスト	土壌汚染、自然破壊等の修復コスト	11.7	13.1	21.6	22.7	26.3	27.6	11.3	10.7	8.7	9.1	
	環境の損傷に対応する引当金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	環境保全に関わる和解金、補償金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小計	11.7	13.1	21.6	23.7	26.3	27.6	11.3	10.7	8.7	9.2	
環境保全コスト	合計	89.0	100.0	91.3	100.0	95.3	100.0	105.1	100.0	95.1	100.0	

※再集計により、コストを修正しました。

環境保全コスト(環境会計)



環境効率



●環境に関するしくみの充実:[KPI]環境保全を目的とした資金拠出

KPIの指標	2016年度実績値	2017年度実績値	2018年度実績値	2018年度目標値	2018年度達成度	2019年度目標値
「地球への配当」拠出額	200,022(千円)	602,588(千円)	288,703(千円)	—	—	—

2018年度「地球への配当」プロジェクトと拠出金額(社会的課題への支援を含む)

カテゴリー	拠出項目	拠出額(円)	
MAEDAの森	MAEDAの森 佐久2 森林整備活動	375,488	2,365,798
	MAEDAの森 ふくい 森林整備活動	141,837	
	MAEDAの森 たかもり 寄付金	31,000	
	MAEDAの森 新入社員森林整備活動	1,817,473	
エコシステム	生物多様性アクション大賞への支援	1,000,000	1,000,000
エコスクール	学校の森・子どもサミット協賛金	500,000	1,180,000
	経団連「生物多様性の本棚」への寄付	680,000	
エコエイド	ベトナム森林復旧プロジェクトへの支援	1,000,000	3,528,133
	日本ユニセフ寄付金	79,000	
	オイスカタイ『子供の森』計画支援	2,449,133	
エコエンジェル	グリーン電力証書の購入	2,998,560	8,699,210
	NPO・NGO法人への環境活動支援・調査に対する寄付	300,000	
	経団連自然保護協議会への寄付	2,000,000	
	外濠水辺再生協議会会費	2,000,000	
	障がい者の自立支援活動に対する寄付	5,800	
	発展途上国の子供たちの支援活動に対する寄付	100,000	
	先進医療、心と体の健康への貢献に対する寄付金	1,153,650	
防災・減災・安全に関する研究や活動に関する寄付金	141,200		
グリーンR&D	地球環境・社会的課題解決のための技術開発支援(2018年度拠出なし)	—	—
MAEDA SII	地球環境・社会的課題解決事業に取り組むベンチャー企業への出資(2件)	262,537,081	262,537,081
エコポイント制度	Me-pon交換商品の購入	8,698,992	9,313,492
	nanacoギフトまたは諸団体への寄付	614,500	
合 計		288,623,714	

グループ会社の環境データ一覧

KPIの指標			2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値
(株)ジェイシティー	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,053	1,907	1,591
	廃棄物排出量	t	158	165	137
	水使用量	m ³	38,951	31,798	31,430
フジミ工研(株)	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,812	2,193	2,010
	廃棄物排出量	t	1,953	3,284	3,035
	水使用量	m ³	23,268	31,383	34,481
(株)JM ※オフィス活動のみ集計	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	216	236	189
	廃棄物排出量	t	—	—	—
	水使用量	m ³	—	—	—
(株)エフビーエス・ミヤマ ※オフィス活動のみ集計	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	85	61	77
	廃棄物排出量	t	—	—	—
	水使用量	m ³	1,073	703	876
光が丘興産(株)	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	426	429	323
	廃棄物排出量	t	8	7	6
	水使用量	m ³	17,077	16,089	15,596
(株)ウィーゴカントリー倶楽部	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	190	313	230
	廃棄物排出量	t	6	5	8
	水使用量	m ³	10,820	17,333	14,720
総計	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	4,782	5,139	4,420
	廃棄物排出量	t	2,215	3,461	3,186
	水使用量	m ³	91,189	97,306	97,103

※オフィス活動の廃棄物排出量について、テナントのため集計が難しい会社は、数値を-としています。

「人材育成とダイバーシティ」

重点項目 企業統治、リスク管理、法令等遵守

◎:100%達成 ○:95%以上達成 △:90%以上達成 ×:未達成

人材育成とダイバーシティ

●労務・人権・人事:【KPI】労務① ダイバーシティ関連

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
障がい者雇用率	1.99%	2.01%	2.39%	—	—	—
定年者再雇用率	88.4%	94.7%	93.0%	—	—	—
女性社員数	317人	341人	370人	—	—	—
女性平均勤続年数	12.5年	12.2年	12.2年	—	—	—
女性管理職者数	23人	25人	37人	—	—	—
女性管理職比率	1.35%	1.46%	2.11%	—	—	—
男性管理職者数	—	—	1,718人	—	—	—
男性管理職比率	—	—	97.89%	—	—	—

●労務・人権・人事:【KPI】労務② ワーク・ライフ・バランス関連

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
育児休業取得者数(女性)	18人	22人	22人	—	—	—
育児休業取得者数(男性)休職を伴う	1人	1人	3人	—	—	—
育児休業取得者数(男性)休職を伴わない	34人	54人	65人	—	—	—
介護休業取得者数	1人	0人	0人	—	—	—
有給休暇取得率	56.7%	42.1%	46.2%	—	—	—
ボランティア休暇取得者数	173人	28人	6人	—	—	—

●労務・人権・人事:【KPI】人権問題に関する教育

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
参加率	100%	100%	100%	100%	◎	100%

● 労務・人権・人事：【KPI】人事（雇用・採用）関連

KPIの指標		2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
雇用契約別従業員数 (性別)	男性	—	2,839人	2,897人	—	—	—
	無期	—	2,660人	2,713人	—	—	—
	有期	—	179人	184人	—	—	—
	女性	—	503	563人	—	—	—
	無期	—	341人	370人	—	—	—
	有期	—	162人	193人	—	—	—
雇用契約別従業員数 (地域別)	日本	—	3,342人	3,460人	—	—	—
	無期	2,945人	3,001人	3,083人	—	—	—
	有期	—	341人	377人	—	—	—
	タイ	—	—	8人	—	—	—
	無期	—	—	8人	—	—	—
	有期	—	—	0人	—	—	—
	ベトナム	—	—	11人	—	—	—
	無期	—	—	11人	—	—	—
	有期	—	—	0人	—	—	—
	香港	—	—	3人	—	—	—
	無期	—	—	3人	—	—	—
	有期	—	—	0人	—	—	—
	他	—	—	8人	—	—	—
	無期	—	—	8人	—	—	—
有期	—	—	0人	—	—	—	
契約・現業員の割合		—	10.2%	12.2%	—	—	—
離職者数	離職者総数	—	28人	34人	—	—	—
	男性	—	26人	31人	—	—	—
	女性	—	2人	3人	—	—	—
	年齢別	—	20代：13人 30代：7人 40代：4人 50代：4人 60代：0人	20代：8人 30代：10人 40代：4人 50代：3人 60代：9人	—	—	—
平均年齢		43.8歳	43.7歳	43.4歳	—	—	—
平均勤続年数		18.4年	18.2年	17.8年	—	—	—
新入社員採用人数		114人	130人	142人	—	—	—
建築系		57人	66人	60人	—	—	—
土木系		36人	46人	55人	—	—	—
技術・情報系		—	—	8人	—	—	—
事務系		21人	18人	19人	—	—	—
スマート ワーク	取得人数	—	36人	121人	—	—	—
	延べ日数	—	78日間	344日間	—	—	—
36協定	締結事業所数	—	約250事業所	約300事業所	—	—	—

「法令等遵守(コンプライアンス)・内部統制」

重点項目 企業統治、リスク管理、法令等遵守

◎:100%達成 ○:95%以上達成 △:90%以上達成 ×:未達成

企業統治

●理念等の浸透・定着:【KPI】経営規範に関する教育の受講

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
新入社員教育の受講者率	100%	100%	100%	100%	◎	100%

リスク管理

●BCPへの取り組み:【KPI】BCP訓練における安否確認メールへの返信(3時間以内)

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
メール返信率	97%	98%	99%	—	—	—

法令等遵守

●CSR・コンプライアンス:【KPI】CSR戦略会議の実施

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
CSR戦略会議実施回数	5回	4回	3回	—	—	—

「企業市民としての社会・地域貢献活動」

重点項目 社会・地域とのコミュニケーション、社員の環境意識向上

◎:100%達成 ○:95%以上達成 △:90%以上達成 ×:未達成

社会・地域とのコミュニケーション

●地域とのコミュニケーション:【KPI】社会・地域貢献活動の取り組み

KPIの指標	2016年度 実績値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2018年度 目標値	2018年度 達成度	2019年度 目標値
取り組み件数	670件	563件	530件	—	—	—

MAEDA SIIの投資先について

地球への配当の3つの制度のひとつ「MAEDA SII」は、様々な社会課題の解決に取り組むベンチャー企業等に対する投資を行う制度です。2015年度の設立以来、多数の企業・団体と接触し、これまで主に下記案件に抛出しています。

No.	年度	企業名	支援する技術開発と解決を目指す社会課題
1	2015	マゼランシステムズジャパン株式会社	最先進GNSS技術による自動化・ロボット化技術を開発し少子高齢・人口減少といった社会課題の解決に貢献
		CONNEXX SYSTEMS株式会社	世界的にも最先進の素材技術、蓄電池技術を提供し、社会的エネルギー問題の解決に貢献
3	2016	エムナブラ株式会社	次世代パワーデバイス関連技術を提供し、次世代情報化社会基盤の整備を促進
4	2017	ミツフジ株式会社	健康増進による新たなライフスタイル創造し、企業の健康経営や将来の高齢化社会の対応に寄与
5		株式会社トヨコー	世界で唯一の屋外利用可能な強力レーザーヘッド技術により革新的なインフラ維持管理を実現
6	2018	トレイグジスタンス株式会社	世界で初めて提唱した人間存在拡張の概念を実現し、社会の生産性を飛躍的に向上
7		Nature Architects株式会社	折紙の幾何学による様々な変形構造の社会実装を実現するプラットフォームを提供
8	2019	センスウェイ株式会社	省電力長距離無線通信によるIoTサービスを展開し、スマート社会の構築に貢献

【CSR報告書2019データブック表紙について】

当社は、障がいのある方々が創作するあたたかみのある作品を、カレンダーや社内報などのデザインに使用し、この活動を通して彼らの自立を支援しています。この活動は、2019年で27年目を迎えました。

本年度のデータブックの表紙は、蔵貫 信さんの作品「天までとどけ」です。



M A E D A

シンボルマーク天空の地平線の意味

環境との調和

前田建設の頭文字である「M」の中に青空に浮かぶ緑の地球。

美しい地球の環境を敏感にとらえ、美しい人間生活に貢献しようとする姿勢を表現しています。

信頼のテクノロジー

カラーで精緻なグラフィック表現は、先進的なハイテクノロジーを象徴するとともに、安定性を持ちながらも天空に向かっていこうとする、大志を抱くイメージを持っています。

美的価値の尊重

従来のマークの域を超えた、リアルなグラフィック表現の採用には、建造物は勿論、その施工のプロセスでも美しくありたいとする願いが込められています。

お問い合わせ先

前田建設工業株式会社

CSR・環境部

TEL: 03-5276-5134(ダイヤルイン)

URL: <http://www.maeda.co.jp>